

昭和57年2月16日～2月17日 1泊2日

- イ 会場 福島県郡山少年自然の家  
ウ 対象及び参加者数  
昭和56年6月～昭和57年5月までに当所を利用する学校の教職員
- 参加者数 { 昭和56年4月21日～4月22日 51名  
昭和56年6月23日～6月24日 46名  
昭和56年9月1日～9月2日 35名  
昭和57年2月16日～2月17日 47名

③ 研修内容

・研究協議（プログラムの編成と展開）・実技研修（キャンプファイヤーの企画と演出、自然観察、フィールドワーク、スコアオリエンテーリング等）・研修活動の紹介（クラフト、コンパスラリー、野外ゲーム等）

(2) 集団宿泊指導者研修会（少年団体等）

① 目的

当所を利用する少年団体等の指導者が当所の効果的な利用をはかるため、研修計画のたて方について協議するとともに、実技研修により指導技術を高める。

② 期日、会場、参加者

- ア 期日 昭和56年5月23日～5月24日 1泊2日  
イ 会場 福島県郡山少年自然の家  
ウ 対象及び参加者数  
当所を利用する少年団体等の指導者  
参加者数 46名

③ 研修内容

・全体会（プログラムの編成と展開及び事前指導）  
・実技研修（キャンプファイヤーの企画と演出、フィールドワーク、スコアオリエンテーリング、サーキット等）  
・研修活動の紹介（ナイトパイキング、クラフト、野外ゲーム等）

(3) つつじを見る親子のつどい

① 目的

海拔876mの御霊櫃峠へ登山し、頂上一面に花開くつつじを探勝したり、他家族との共同生活やレクリエーションなどを通じて楽しいひとときをおくる。

② 期日、会場、参加者

- ア 期日 昭和56年6月6日～6月7日 1泊2日  
イ 会場 福島県郡山少年自然の家  
ウ 対象及び参加者数  
親子または地域の数人単位のグループ  
参加者数 93名（23家族）

③ 事業内容

・御霊櫃峠登山 ・つつじ探勝 ・交歓会（ゲーム・ダンス、キャンドルファイヤー）

(4) キャンプで語ろう親子のつどい

① 目的

テントによるキャンプ生活や家族単位のオリエンテーリング大会及びキャンプファイヤーを囲んでの語り合いの中から、親子の心の触れ合いと参加者相互の親睦をはかる。

② 期日、会場、参加者

- ア 期日 昭和56年7月31日～8月2日 2泊3日

- イ 会場 福島県郡山少年自然の家  
ウ 対象及び参加者数  
親子または地域の数人単位のグループ  
参加者数 103名（33家族）

③ 事業内容

・キャンプ ・キャンプファイヤー ・水泳 ・オリエンテーリング大会 ・ゲーム・ダンス

(5) 雪を楽しむ親子のつどい

① 目的

冬のきびしい自然の中でのそりすべりを通して、寒さを克服する強い意志を養い、また、もちつきやゲーム・ダンスなどを楽しみながら、他家族との交流をはかる。

② 期日、会場、参加者

ア 期日

第1回 昭和57年1月30日～1月31日 1泊2日

第2回 昭和57年2月6日～2月7日 1泊2日

イ 会場 福島県郡山少年自然の家

ウ 対象及び参加者数

親子または地域の数人単位のグループ

参加者数 { 第1回 131名（38家族）

第2回 115名（33家族）

③ 事業内容

・そりすべり、たこあげ ・もちつき ・交歓のつどい（ゲーム・ダンス）

(6) 野外活動実技指導者研修会（基礎講座）

① 目的

青少年教育に携わる指導者の野外活動実技指導の向上をはかるため、実技に関する基礎的知識や技能、指導法について研修し、資質の向上をはかる。

② 期日、会場、参加者

ア 期日 昭和56年7月30日～8月2日 3泊4日

イ 会場 福島県郡山少年自然の家

ウ 対象及び参加者数

県内の高校生、大学生並びに社会教育関係者、学校教育関係者中の初心者

参加者数 31名

③ 研修内容

・野外教育の意義と目的 ・自然保護の意義と必要性  
・青少年団体指導者のあり方 ・野外活動プログラムのつくり方 ・キャンピング ・レクリエーション  
・水泳における救助法、救急法 ・オリエンテーリング  
・キャンプファイヤー

(7) レクリエーション実技指導者研修会（基礎講座）

① 目的

青少年教育に関係する指導者のレクリエーション実技指導技術の向上をはかるため、実技に関する基礎的知識や技能、指導法について研修し、資質の向上をはかる。

② 期日、会場、参加者

ア 期日 昭和56年8月20日～8月23日 3泊4日